令和2年2月

《光大寺発電所事業性評価調査事業》

1. 事業の目的

河川測量、地形測量、地質調査を基に基本設計を行い事業実施に向けた二次事業性評価を実施する。

2. 事業の内容

(1) 事業者名
信夫山福島電力株式会社

(2) 事業名
光大寺発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間
令和元年9月3日～令和2年2月21日

(4) 調査を実施する発電設備の概要
a. 発電形式　：　横断水路式(スクリーン除塵式)
b. 使用水量　：　2.73m^3/s
c. 有効落差　：　38.4m
d. 出　　力　：　798kW

3. 平成31年度の事業実施概要

①地形測量
貯水槽及び発電所周辺の地形測量を実施し、取水地点から放水地点の高低差を実測し、縦・横断測量を行った。

②河川測量
取水地点及び放水地点の河川測量及び縦・横断測量を行った。

③地質調査
取水地点、貯水槽地点、発電所地点のボーリング調査を行った。

④基本設計
調査地点で発電所設計諸元の決定及び工事費用を算出し、経済性を再確認した事業性を判断するために、基本設計を行った。

⑤二次事業性評価
現時点での事業性評価を行い、次年度の総合評価に資する評価とした。

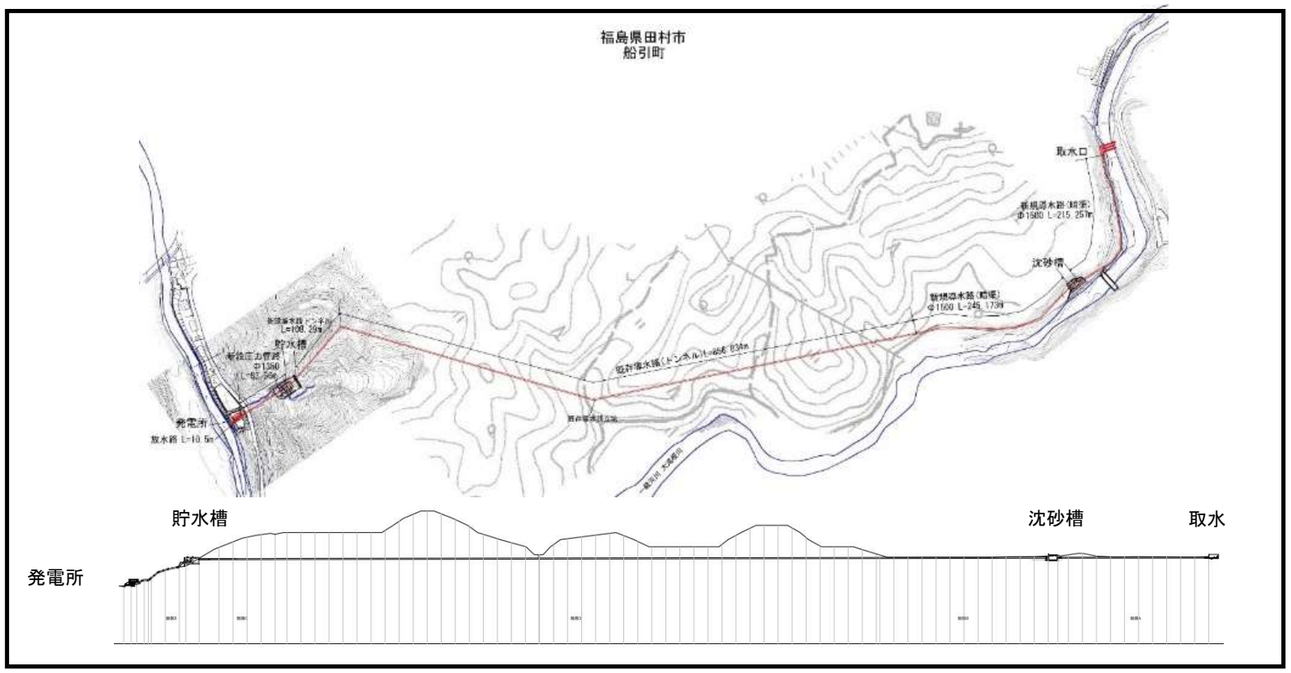
－ 貯水槽地点のボーリング調査－

4. 事業の成果等

(1) 目標の達成
計画どおりに検討を行い、最適な規模・導水ルート、設備配置、発電所建設に係る建設費用の算定、年間発電量の算定及び最適な最大使用水量の算定を行った。また、経済性改善のために検討すべき項目を明確にすることができ、平成31年度の水力発電事業性評価調査事業の目標は達成した。

(2) 当該地点の事業化の展望や可能性の見通し
今後の事業化に向け、さらなる経済性改善項目を検討し、詳細設計を進める中で、より経済的な設備設計を行い、事業化を目指す。

(3) 当該地点の水力発電の事業性の有無
平成31年度事業の成果によって得られた年間発電量・設備利用率から水力発電の事業性は高いと判断できる。



5. 事業スケジュール

	調査内容	30年度（実績）											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
補助事業	現地詳細測量										■		
	河川縦横断測量							■					
	地質調査										■	■	
	基本設計								■	■	■	■	
	事業性評価											■	
補助事業外	河川流量測定	■	■	■	■	■	■						